



安納いもの品質向上へ！種子島安納いも等品評会

11月29日、安納芋ブランド推進本部が中種子町中央公民館にて、安納いも等品評会を開きました。

種子島島内から「安納紅」、「安納こがね」、「種子島ゴールド」の3品種が出品され、関係者によって糖度審査をはじめ、形状の良否、揃い、肉色、病害虫（傷も含む）、皮色などの審査を行いました。

品評会後には安納いもの食味や、サツマイモのルーツや育て方、基腐病に関する研修会も行い、次年度に向けた対策を出席者全員で確認しました。

品評会の結果は以下の通りとなりました。

【箱部門】

金賞 特撰種子島安納いも生産部会 川畑次博 安納紅（西之表）

銀賞 [誠農園][島のたべもの] 種子島有機グループ 勇元誠 安納こがね（西之表）

銅賞 種子島安納芋生産組合 中脇義隆 安納紅（南種子）

【株部門】

金賞 JA中種子町園芸振興会さつまいも部会 田中満男 安納こがね（中種子）

銀賞 種子島現和風本生産グループ 古川正一 安納紅（西之表）

銅賞 鮫島ファミリー農園 鮫島辰義 種子島ゴールド（南種子）

【年間糖度検査優秀賞】

西園農園（南種子）

【最高糖度賞】

(株)エス・ワールド（中種子）



▲表彰される田中満男さん



▲株部門出品作品

令和6／7年産 サトウキビ原料受入開始式



▲運び込まれるサトウキビ

12月3日、中種子町の新光糖業株式会社で、令和6／7年産のサトウキビ受入開始式が開催されました。

種子島の基幹作物であるサトウキビが、トラックによって次々と工場内に搬入されました。これから約4ヶ月に渡って、サトウキビの収穫で種子島全体が活気付きます。

今期は台風被害も少なく、順調に生育しており、生産量約15万6千トン、単収約6.7トンを見込んでいます。



双子座
5/21
～6/21

【全体運】遊び心が新しい可能性を呼び込みます。近道を選ばずに遠回りもいいでしょう。下旬には運気が上昇します。挑戦が吉
【健康運】つい食べ過ぎてしまいがち。よく体を動かして
【幸運を呼ぶ食べ物】ナバナ